

聳島を巣立ったアホウドリの帰還状況について

<環境省自然環境局 同時発表>

平成 24 年 2 月 27 日(月)
(財)山階鳥類研究所

小笠原群島^{むこじま}聳島におけるアホウドリの新繁殖地形成事業（伊豆諸島鳥島のアホウドリのヒナを小笠原諸島聳島に移送し、新しい繁殖地を形成する事業）において、平成 24 年 2 月 20 日現在、聳島を巣立った個体 3 羽の帰還が確認されていますので、お知らせいたします。

※この事業は、(財)山階鳥類研究所が、環境省、米国魚類野生生物局、三井物産環境基金、公益信託サントリー世界愛鳥基金等の支援を得て実施しているもので今年度が 5 か年目（移送は最終）となります。

●聳島巣立ち個体の今シーズンの帰還状況について

帰還確認日	個体番号	♂♀	年齢（移送年＝聳島巣立ち年）	備考
H23. 12. 5	Y01	オス	4 歳（平成 20 年）	NHK が設置したカメラにより確認 昨季最初に帰還を確認した個体
H24. 1. 29	Y11	メス	3 歳（平成 21 年）	NHK が設置したカメラにより確認
H24. 2. 9	Y20 番代	不明	3 歳（平成 21 年）	個体番号の一桁目は確認できず

計 3 羽

●上記のほか聳島で確認された個体の状況について

確認日	個体番号	♂♀	年齢	備考
H23. 12. 24	—	不明	不明 1(亜成鳥)	NHK が設置したカメラにより確認 足環がついていないことを確認
H23. 12. 31	—	不明	不明 2(亜成鳥)	NHK が設置したカメラにより確認 足環装着を確認（足環の色により、 聳島へ移送した個体でないことが判明）
H23. 1. 15	—	不明	不明 3(亜成鳥)	NHK が設置したカメラにより確認 足環がついていないことを確認

計 3 羽

※Y01 と不明 1 の個体は、昨年の 12 月から島内の同じ場所に定着しており、求愛ダンスをしていることが確認されています。

※繁殖可能な年齢は最も若くて 5 歳で、平均では 7 歳頃とされています。

※NHK のカメラ（山階鳥類研究所が NHK と共同で設置したデコイ（鳥の模型）に似せたカメラ）により確認されていた個体については、2 月 11 日に聳島入りした山階鳥類研究所の調査員が現地で確認したうえで今回発表しました。

この件についての連絡先

(財)山階鳥類研究所 (270-1145 我孫子市高野山 115)

保全研究室 室長 尾崎清明 (又は広報主任 平岡考)

電話 : 04-7182-1107、Fax:04-7182-4342

(次ページに掲載の個体の写真のデジタルデータを提供いたします)

参考：平成 23 年の聳島巣立ち個体の帰還実績（年齢は帰還確認日時点のもの）

帰還確認日	個体番号	♂♀	年齢（移送年）
2月10日	Y01	オス	3歳（平成20年）
2月25日	Y04	オス	3歳（平成20年）
3月12日	Y03	メス	3歳（平成20年）
3月17日	Y06	メス	3歳（平成20年）
3月26日	Y24	オス	2歳（平成21年）
4月1日	Y07	オス	3歳（平成20年）
	Y10	メス	3歳（平成20年）

計7羽

● 個体の写真



3羽のアホウドリ（周辺はデコイ(模型)
【2月10日撮影】



Y01 と不明1の個体(推定)
(写真撮影時には足環が確認できなかったが、
羽色や行動によりそれぞれの個体を推定)

【2月18日撮影】



Y11 【2月11日撮影】

写真提供：(財)山階鳥類研究所

● 確認された場所

小笠原諸島聳島で飼育を行っていた場所

